

燦々

SANSAN
光り輝く



特集

2017日胆畜産共進会

清瀬利一さん(穂別地区)の南瓜収穫作業

JAとまこまい広域
燦々光り輝く
No.186 報誌



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2
FAX 0145-273941

平成29年9月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
メールアドレス
info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

10月1日(日)より営業時間に変更となります

			厚真支所	上厚真事業所	早来支所	穂別支所	追分支所	白老支所	苫小牧支所
事務所	一般部門	平 日	9:00～17:00					8:45～17:00	
		土曜日	9:00～12:00					8:45～12:00	
金融部門	窓口 (土・祝日休)	月～金	8:45 } 16:45		9:00～16:00			9:00 } 17:00	9:00 } 16:30
	ATM (祝日休)	平 日	8:45～18:00						8:45 } 19:00
		土曜日	9:00～13:00			休 業	9:00 } 17:00		
Aコープ		月～土	9:00 } 19:00	(Aコープ 折坂商店) 7:00 } 19:00		9:30 } 19:00			
		祝 日	9:00 } 18:00			9:30 } 18:00			
		日曜日	休 業			8:00 } 18:00			
スタンド (日曜休み・祝日営業)		月～土	8:00～18:00						
		祝 日	8:00～17:00						

※Aコープ(厚真店、穂別店)とスタンドは11月1日(水)からの変更となります



下記解答用紙を切り取り、P12のまちがいさがしの答え、イラスト、身近な話題や感想を書き添えてお寄せ下さい。
抽選で図書カードをプレゼントいたします。
FAX(0145)27-3723に送信して下さい。ハガキでも受け付けています。
(宛先はクイズ同様、JAとまこまい広域本所・営農課まで)
多くのご応募お待ちしております。

締切 9月30日(土)
当日消印有効。発表は10月号です。

キリトリ線 ✂

●イラスト

●9月号のまちがいさがしの答え

●今月号の感想や最近の出来事

郵便番号: 〒

—

住 所:

氏 名:

●組合員
●一般

年 齢:

歳

電話番号:

ホクレン苫小牧支所との意見交換会 開催



8月10日、JAとまこまい広域はホクレン苫小牧支所との意見交換会をJA役職員、青年部・女性部役員あわせて66名出席のもと、JA本所総合営農センターにて開催しました。これはホクレン・組合員・JAの連携強化を図るとともに、農業を取り巻く様々な問題解決に向けた意見交換と情報共有を目的に例年行われています。

開催にあたって秋永徹代表理事組合長は「ホクレンは農家の所得向上に向けて3年間の特別対策を打ち出して取り組んでいる。JAとしても、この地域にとって一番良い方策をホクレンと共に協議していきたい」と挨拶しました。また、小川雅勇ホクレン苫小牧支所長は「ホクレン事業改革プラン、第12次中期計画において販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営を基本戦略として、農業所得の向上に向け取り組んでいる。本日は皆様方のご意見・ご要望を多く賜り、今後の事業運営に反映していきたい」と述べました。

意見交換会では、JA役員や青年部・女性部役員から「業務用需要供給を目的とした水稻新品種「そらゆき」の今後の方向性」、「農畜産物輸出事業に係わるホクレンの取組状況」、「EUとのEPA大枠合意が与える影響等」、さらには「みそをベースにした加工品の商品開発に向けた優良事例紹介」等の意見・要望について、活発な意見交換が行われました。



▲水稻新品種「そらゆき」の取り扱いについて質問する畑嶋賢蔵理事



▲内藤順介代表監事より牛肉輸出に関する質問が



▲女性目線での意見を発する佐藤美奈子女性部長



▲黒毛和種の審査の様子



▲乳用牛の審査風景



▲黒毛最高位となった「さきよ25」号



▲第5部優秀賞1席となった「リッチモンド CS スマイル マティス」号

2017日胆畜産共進会 入賞結果表

○黒毛和種の部

部	順位	氏名	地区名	名号
未経産	最高位賞	吉村 強	穂別地区	さきよ25
第1部	優秀賞2席	上村 義昭	穂別地区	みつひら29
	優秀賞4席	清川三十四	穂別地区	さきこ
	優秀賞5席	長橋 義治	厚真地区	さゆり
第2部	優秀賞2席	今野 昭男	厚真地区	さくら5
第3部	優秀賞4席	西 正光	穂別地区	みくこ271
	優秀賞5席	中村けい子	穂別地区	ゆき18
第4部	優秀賞1席	吉村 強	穂別地区	さきよ25
第6部	優秀賞1席	今野 昭男	厚真地区	のぶしさ

○乳用牛の部

部	順位	氏名	地区名	名号
第5部	優秀賞1席	五十嵐貴満	苫小牧地区	リッチモンド CS スマイル マティス

日胆管内の和牛・乳牛の品質などを競う日胆畜産共進会（ホクレン主催）が8月27日、安平町ホルスタイン共進会場で開催され、各地区の共進会で選ばれた約100頭の牛たちが一堂に会して審査されました。

JAとまこまい広域からは、各共進会を勝ち抜いた黒毛和種16頭、ホルスタイン種7頭の計23頭が出陳され、前日には同会場へ各行政や関係機関の代表者も集まり、上位入賞への機運を高めるべく激励会を開催しました。

当日は審査員として黒毛和種の部で（一社）北海道酪農畜産協会の岸大輔課長が、乳用牛の部では陸別町酪農家の編田尚弘氏が審査にあたりました。

黒毛和種の部9部、乳用牛の部12部で行われた審査では、黒毛和種の部で、むかわ町穂別の吉村強さんが出陳した「さきよ25」号が未経産クラスの最高位賞に輝きました。また、乳用牛の部では苫小牧市の五十嵐貴満さんが出陳した「リッチモンド CS スマイル マティス」号が第5部（未経産シニアミドルクラス）において優秀賞1席に選ばれました。



▲審査員を務めた岸大輔氏



▲審査員を務めた編田尚弘氏

特集

sansan

2017
日胆畜産共進会

広域

広域産南瓜の出荷始まる

J Aとまこまい広域南瓜生産部会

8月6日、むかわ町穂別地区にて今年収穫された南瓜がJ Aとまこまい広域穂別支所選果場に初出荷された。昨年と比べ1日遅い出荷となったこの日は、生産者2名で合計1,300箱(10kg/箱)を出荷した。9日には、前日までに荷受けされた南瓜3,200箱が20トントレーラー2台に積載され、四国・中国地方の4市場に向けて出荷された。

J Aとまこまい広域南瓜生産部会(清瀬利一 部会長)では、えびす南瓜を主軸に生産者138戸で約400ha作付され



▲リフトでパレットに積んでいる南瓜を荷下ろしする



▲満載にして道外市場へ出荷される

ており、今回出荷が始まった穂別地区では6割強にあたる約260haが作付されている。

清瀬部会長は「今年は5月の低温と6月の大雨で生育が遅れていたが、7月は高温で推移したことによって平年並程度まで回復してくれた。今年も美味しい南瓜を消費者に届けられる」と話す。

J Aとまこまい広域南瓜生産部会では、今年度取扱量5,700t、販売取扱高5億8千万円を計画しており、10月中旬頃まで出荷が続く見込みとなっている。

白老

広域産野菜と白老牛コロッケ盛況

2017元氣まちしらおい港まつり開催

「2017元氣まちしらおい港まつり」(同実行委員会主催)が7月29日、30日の両日、白老港・インカルミントル前広場を主会場にて開催された。大勢の家族連れらが詰めかけ、5千発規模の花火大会や歌謡ショー、露店巡りなどを楽しんだ。

29日のオープニングセレモニーでは、アイヌ文化復興拠点「民族共生象徴空間」の開設1,000日前に当たり、記念イベントが行われた。



▲新鮮な広域産野菜を数多く用意した



▲コロッケやジンギスカンも好評だった

J Aとまこまい広域も同会場にて出店し、揚げたての白老産牛肉ハンバーグ、白老牛コロッケを販売した。5,000発の花火大会による客足の伸びも手伝い、用意した商品は全て完売した。

30日は白老牛コロッケやJ A特製ジンギスカンの他、スイートコーンやトマト、ブロッコリー、ピメントなど計9種類の野菜を産直販売。ブース前には多くの来場者が新鮮で安全・安心な広域産の野菜を買い求め、ほぼ完売した。また、会場内では炭火焼きも行われ、来場者たちは各テーブルで白老牛、魚や貝などの海産物に舌鼓を打った。

白老

白老牛や夏野菜を還元価格で限定販売

白老牛・農産物フェア開催

8月5日、J Aとまこまい広域白老支所駐車場にて同支所主催の「産地直送! 白老牛・農産物フェア」を開催した。このフェアは、白老町民や近隣の皆様に白老町で肥育された白老牛を広く提供し、併せてJ Aとまこまい広域管内で生産された農畜産物や「おふくろみそ」などの加工品をPRし、地産地消を推進することを目的として毎年8月と12月の年2回行われ、今回は今年初めての開催となる。今回のフェアには、A5等級の白老牛を用意し、サロインや焼肉、ヒレステーキ



▲大人気の牛肉販売コーナー



▲旬のメロンやカンロ等の農産物を販売

キなどが町民還元価格で提供され、一番人気のヒレステーキは開始10分で完売した。特別価格で提供された白老牛をまとめ買いする町民の姿が多く見られた。また、白老産牛肉ハンバーグや白老牛コロッケ、ジンギスカンのコーナーでもひっきりなしに買い物が訪れた。

農産物コーナーでは穂別産カンロやカボチャ、スイカ、追分産アサヒメロン、厚真産トマトやパプリカなどの野菜が販売され、カンロやスイカ、トウキビはあつという間に完売し、今回も大盛況のうちにフェアは終了した。

追分

特産品「アサヒメロン」を販売

みんな集まれ! ワイワイ祭り開催

8月5日、「第7回 みんな集まれ! ワイワイ祭り」が安平町追分鹿公園で開催された。同祭りは追分地区出身の演歌歌手、正木はじめ氏の後援会が中心となり安平町の活性化を目指し、毎年開催している。

今回、追分支所では安平町の特産品である「アサヒメロン」を80箱用意し、午後1時から売り切れ次第終了という形で特価販売を行った。販売開始1時間前からメロンを買い求める行列がテント前に



▲数量限定メロンは大人気



▲会場内を盛り上げたよさこいソーラン

でき、販売が開始すると用意したメロンは次々と売れていった。友人や知人に地方発送する方も多く、今までにない早さで完売となった。

会場内ステージではカラオケ大会や正木はじめ歌謡ショー、よさこいソーラン演舞等、数多くのイベントが行われ、来場者も年に一度のこの祭りを大いに楽しんでいた。

早来

収量はやや増の見込み

加工スイートコーン収穫

8月17日、早来地区において加工用スイートコーンの収穫が始まった。
早来地区では今年31件の生産者で約22haの加工スイートコーンを作付しており、収穫された加工用スイートコーンは株式会社モリタンや日本食品製造合資会社などへ出荷され、冷凍食品や缶詰となる。

担当者は、「播種時期の5月に気温が低かったことと6月の降水量が多かった



▲3台同時にスイートコーンを収穫



▲収穫されたスイートコーンをトラックに積み込む

ことで生育が懸念されたが、7月の猛暑と日照時間の長さにより背丈が一気に伸びた。しかし、8月も気温が低く曇天が多かったため、思ったより俵が太らず、収穫時期を平年より遅らせることで平年並みの俵となった。播種から収穫までの気温の変化により全体の生育には多少のばらつきはみられたが、収量は平年よりやや増で、不作だった昨年の1・5倍はありそうだ」と話した。
スイートコーンの茎や葉は栄養分が豊富なため、畑にすきこまれることで、緑肥効果と土質改良に一役買っこととなる。

穂別

穂別生産者交流会

球技大会を通じて組合員・JA役職員が交流

8月5日、JA穂別支所は組合員相互及び、JA役職員と交流することにより組合員密着化を図られ、地域農業の活性化にもつながることを目的とした「穂別生産者交流会」を同支所選果場にて開催し、組合員・JA役職員合わせておよそ90名が参加した。

当日朝方に降った雨により、前段の農事組合親睦球技大会の開催が危ぶまれたが、9時ごろには雨もやみ、開催時間にはどちらの会場もフィールドが乾き、無

事開催に至った。

球技大会はソフトボールとパークゴルフの二種目が行われ、それぞれの競技に分かれた参加者は、競いながら和気藹々とした雰囲気

で行った。
ソフトボールでは、豊和地区チームと青年部チームの二手に分かれ、最優秀賞には唯一の女性参加者でピッチャーを務めた小松誠子さんが、優秀賞には会心のホームランを放った中澤誠弥さんがそれぞれ選ばれた。

パークゴルフは全27ホールを回り、男性の部では山中光治さん（スコア84）が、女性の部では山中ツエ子さん（スコア92）がそれぞれ第1位に輝いた。

球技大会終了後に行われた生産者交流会では、宮田地区担当理事の開会挨拶の後、秋永組合長の乾杯で始まり、終始賑やかな雰囲気の中交流を深めた。



▲全27ホールでスコアを競ったパークゴルフ

セコマから厚真産ハスカップのソフトクリーム発売

株式会社セコマ（札幌市中央区）は、北海道厚真産ハスカップを使ったソフトクリームをセイコーマート店舗で期間限定販売しています。セコマは、昨年夏に当JAからの提案を受けて、厚真産ハスカップを利用した「ハスカップアイス」を販売し、今年はさらにそれを進化させてソフトクリームを販売するに至りました。

ハスカップは本州中部以北の高山と北海道の原野や山岳に分布している植物。実は血流を促し、眼精疲労の改善や目の機能の回復などの働きがあるアントシアニンの他、鉄分、カルシウム、ビタミンCなどが豊富に含まれています。

栽培面積日本一を誇る厚真産ハスカップの果汁とセコマグループの豊富牛乳公社（天塩郡豊富町）が製造する牛乳を使い、同じくグループのダイマル乳品（苫前郡羽幌町）がソフトを製造し価格は税込200円。また、8月12日からは「Secoma北海道ハスカップ&バニラ」（価格 北海道税込240円、関東税込250円）の販売を開始しました。

なお、このソフトクリーム及びカップアイスにつきましては、当JAのAコープ厚真店でも取り扱っておりますので、是非一度ご賞味願います。



▲カップアイスは税込240円で販売

◀厚真産ハスカップソフトクリーム（税込200円）

厚真

厚真町で馬鈴薯収穫・出荷

馬鈴薯の共撰作業始まる

8月16日、厚真町上野の馬鈴薯撰果場にて今年最初の共撰作業が開始され、生産者4名が出荷した約25tの馬鈴薯を撰果した。昨年と比べ3日遅い。

厚真町では8月7日より収穫作業が始まっており、生産者は収穫した馬鈴薯をハードコンテナに入れて撰果場へ次々と出荷している。

作業開始した撰果場ではパート職員20名体制で選果ライン上の馬鈴薯を手作業により選別している。

JAとまこまい広域管内で生産する馬



▲馬鈴薯を撰果するパート職員



▲箱詰めされた馬鈴薯を次々積み上げる

鈴薯は、主に「メイクイン」と「きたかり」の2品種を栽培。今年の早出し馬鈴薯は、春先の低温で若干生育は遅れたものの、6月以降は順調に推移、8月上旬の曇天で全体的な玉なりは若干小玉傾向となっている。

JA担当者は「現在出荷されている馬鈴薯は特M中心で撰果されているが、中盤以降収穫されるものについては、玉なりも充実してくるので平年作以上の収量が見込める」と今後の見通しを話す。

JAとまこまい広域馬鈴薯生産部会では、生産者45戸で約58haの作付けを行い、取扱量1,500t、販売取扱高1億4千万円を計画している。

JAとまこまい広域

フォトコンテスト

作品募集



応募期限 平成29年

9/30(土)

JAとまこまい広域では、入賞作品を中心に平成30年度のカレンダーを制作致します。プロ・アマを問わず、どなたでも参加できますので、写真に自信のある方、コンテストにチャレンジしてみたい方は奮ってご応募下さい。

《テーマ》

「地域の元気な農作業風景」
「魅力あふれる季節感のある風景」

あなたの作品が
カレンダーに!!



応募方法・入賞等、詳しくは <http://www.ja-tomakomaikouiki.com>

作品の送り先
問い合わせ先

〒059-1693 北海道勇払郡厚真町錦町10-2
JAとまこまい広域 営農部営農課「フォトコンテスト」係
TEL:0145-27-2246 Eメール:info@ja-tomakomaikouiki.com

キリトリ線 ✂

JAとまこまい広域フォトコンテスト 応募票

タイトル				ご住所
撮影地				電話番号
フリガナ				作品へのコメント
お名前		年齢		

※ご記入いただいた個人情報は本件以外には使用致しません。

キリトリ線 ✂

本間胆振総合振興局長による農作物生育状況調査・現地視察

8月8日、北海道胆振総合振興局の本間研一局長による農作物の生育状況調査・現地視察が厚真町にて行われました。振興局及び胆振農業改良普及センター職員が同行する中、2会場を巡回し生育状況を確認するとともに、JAとまこまい広域の米麦乾燥調製施設「たんとうまいステーション」を視察しました。

指導農業士の河村敏弘氏の花卉ほ場では、普及センター及び河村氏が花卉の生育状況や経営概要、花卉部会の取り組みについて説明しました。

また、普及センターで設置している水稻奨励品種決定試験圃（石橋公昭氏ほ場）を巡回し、普及センターから生育状況や奨励品種決定試験圃の概要について報告するとともに、厚真町で徐々に普及している水稻直播の取り組みについて情報共有しました。

本間局長は「5月、6月は低温多雨で生育が遅れて心配していたが、7月から天候に恵まれ今は少し進んでいることを、直接現地を見て実感した。今後も順調に生育し収穫できるよう期待している」と総評を述べました。

その後、たんとうまいステーションの視察を行い、秋永組合長と武田農産部長から出荷されている小麦の作柄や調製状況、施設の概要等について施設内を巡りながら説明をしました。



花卉の取り組み等を説明する河村氏(右)



小麦の作柄等を確認する本間局長(左)

都市部の小学生が厚真町で農業体験 北海道わたみ自然学校 in 厚真町

主に外食産業を事業展開しているワタミグループと厚真町は、8月1日から4日までの日程で「北海道わたみ自然学校 in 厚真町」を開催し、全国から集まった子どもたちは厚真町の農業や自然を体験しました。

この企画はワタミグループ創業者の渡邊美樹氏が社会貢献活動の一貫として都市部の小学生を対象に、自然とのふれあいを通じて、命の大切さを学んでもらうことを目的に平成11年から行われており、今年は関東を中心とした全国の小学4年生から6年生36名が参加しました。

共催している厚真町で

の開催は昨年に続き2回目となりました。また、JAとしても食育活動の一貫として協力している経過にあり、受入農業者の仲介や食材の提供等、子どもたちの思い出づくりに一役買っています。

3日には町内の酪農家、山田澄恵氏の牧場に牧場散策や牛舎で仔牛とふれあう体験等が行われ、最初は牛になかなか近づけない子どももいましたが、時間とともに触れたり一緒に写真を撮ったりと、生き物としての牛に興味や親しみをもってもらうきっかけとなりました。



山田氏の牧場に牛とふれあう子ども達



さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

秋まき小麦 「なまぐさ黒穂病」 について

秋まき小麦「なまぐさ黒穂病」の東胆振地区での発生は確認されていませんが、5振興局内(空知、石狩、胆振、上川、オホーツク)では発生が確認されています。発生およびまん延防止のために、基本技術の励行や初発確認が重要です。

1 病徴と見分け方(北海道病害虫防除所HPより)

いびつな穂の中に黒い粉がつまった実が入っていたら要注意です。



図1 罹病穂(黄色矢印)は健全穂(赤色矢印)より丈が低い



図2 健全な穂がまだ肥大していない時期に、罹病穂は肥大している(写真は6月下旬)。また、種皮の色が濃い緑色になっている。子実の肥大に伴い藁が外側に開毛羽立つ



2 発生の確認(平成28年コムギなまぐさ黒穂病発生要因分析調査結果より)

発生は「ほ場の出入口付近」で85%確認されています。ただし、「ほ場の出入口付近」に発生がなくても、内部で発生している事例も1割程度あることから「ほ場の出入口付近」以外でも発生の有無を確認する必要があります。

○発病を確認するには、まずほ場の出入口から確認する。

○その後、ほ場内部の発生状況を確認する。

3 おわりに

発生要因は特定されていませんが、様々な要因で発生条件が整ったことによるものと考えられます。発生防止には「基本技術の励行」が重要です。下表を参考に作業等の再確認をお願いします。

基本技術	主な内容
適期は種	9月15～20日
排水対策	停滞水が見られるほ場の額縁明きよの設置、サブソイラによる耕盤層の破壊。
健全種子の使用	採種は産種子を使用する。
適切な防除	種子消毒を実施する。
輪作の実施	小麦の連作をしない。交互作などの短期輪作をさける。

ワンポイント営農情報

水稻育苗中の障害と老化苗移植がまだまだ多く、このことが原因で初期成育が劣り、莖数不足となっています。

米生産者の意識啓発として、水稻栽培の基本対策に焦点をあてました。

今から準備！『水稻育苗障害の対策』

水稻耕作者の土壌診断実施状況

年度	水稻耕作者数	本田総合分析割合	水稻育苗割合	
			総合分析	簡易分析
平成26年	358戸	8%	4%	4%
平成27年	350戸	23%	7%	10%
平成28年	321戸	20%	6%	11%

JAとまこまい広域分析センター実績より算出

急がれる土壌診断に基づく育苗改善

- 育苗ハウス、かけ土とも少ない診断数
- 農薬による立枯障害対応に限界
- 育苗実態が把握できていますか

良質な苗づくりには

- 十分な床土の乾燥
- 適期播種(30日程度の若苗移植)
- 適切なpH矯正(4.5～5.0)

※上記を実行するには、3月中に育苗ハウスの外張りビニールの展開を終了し、置床の早期乾燥と地温の上昇を図りたいところです。

pH矯正は地温が確保できる9月上中旬、遅くても9月下旬迄の実施を励行しましょう。

EC値が高い場合は簡易分析を総合分析に切り替えましょう。



ピシウム菌による育苗後半のムレ苗症状

ピシウム菌による苗立枯病は、低温、過温(苗床の地温 14～16℃、pH6.1以上、pF1.7以下)で多発します。床土のpHが高く多湿条件で2葉期頃、低温日照不足で苗が弱った状態のあと、急に温度が上がったような場合に発生しやすく、ムレ苗症状となります。

育苗後半にも発生し、坪状に赤茶けて急激にしおれます。他の苗立枯病と違い、地際にカビが見られません。



フザリウム菌による苗立枯苗

立ち枯れた苗

根についたカビが赤い

育苗前半、低温pH5.0以上、不適切な水管理(過湿・乾燥)で発生しやすい。出芽後に生育不良となり、しおれて黄化し淡褐色に枯死します。

種籾と根の回りに白から淡紅色のカビが見られるので「赤カビ」と呼ばれます。

リン酸過剰障害(葉の先端に褐変症状)効果的な対応農薬がありません



1葉と2葉の先端が褐色に変色する。

硫酸過剰の床土では、稲の生育は不良である。

長年、育苗置床をしている床土は、低pHで苦土がなくなり、リン酸過剰障害が起こりやすくなります。

《対策》

土壌診断に基づいて低リン酸施肥と苦土単肥材の補充で、多く改善事例が積み上げられています。

年内に全ての育苗土で
土壌診断を行いましょう

📧 今月のあたより

8月に入って気温が低いので、家庭菜園の病害虫に悩まされています。

.....
苫小牧市 佐々木 ひとみさん

8月16日から学校がはじまるので、勉強をがんばりたいです。

.....
厚真町 さがえ みずきさん

はじめてお店にあったのを手にしました。地域に密着した、充実した内容に楽しく読ませていただきました。

.....
苫小牧市 高田 えいこさん

👉 編集者から

7月上旬の暑さが夏が終わってしまった、と思うほど8月に入ってから気温があまり上がらない日が続きました。美味しい野菜が収穫できるよう、適正防除に努めていただきたいと思います。

👉 編集者から

楽しい夏休みが終わって、2学期がスタートしました。これからどんどん涼しくなって収穫の秋となります。勉強する事は大切ですが、時々思いっきり体を動かしましょう。

👉 編集者から

ご覧いただき、ありがとうございます。お住まいの苫小牧市内での行事や、これからの予定などを詳しく掲載させていただいております。今後ともよろしく願っています。

みんなのコーナー



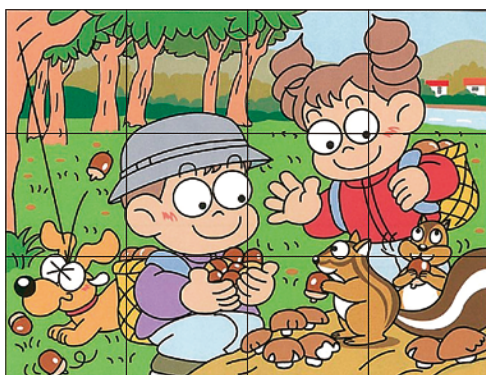
むかわ町 きとう きよはるさん



厚真町 さがえ みずきさん

まちがしまがし

下記のイラストの左右で違う部分、5カ所を探してください。



違う部分を下記の枠内の数字で答え、裏表紙の解答用紙に記入して下さい。



🎁 プレゼント 8月号プレゼント当選者

先月号の答えは「2・3・5・8・11」でした。
応募総数22名の中から
当選された方々には図書カードをお送りします。

高橋 侑也 (厚真町) 谷岡 裕司 (苫小牧市)
藤長 アサ子 (むかわ町) 小納谷 和雄 (厚真町)
佐々木 ひとみ (苫小牧市) 高田 えいこ (苫小牧市) (敬称略)

職員異動

人事異動 (旧役職) 9月1日付

服部 啓三

参事兼農業振興本部長兼営農部長兼穂別支所長
(参事兼農業振興本部長兼営農部長)

近藤 克之

穂別支所長代理兼営農農産課長
(穂別支所長兼営農農産課長)

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。

支所名	氏名	享年	月日
穂別	大頭 昌子さん	85	7/2
厚真	水野 清子さん	75	7/7
厚真	白木 ヨコさん	88	7/19
厚真	谷内 隆一さん	94	7/21



おいしいの一言がうれしくて



なかむら やすし
中村 欣さん (39歳)
安平町安平

中村さんは芽室町出身で、帯広工業高等学校から東海大学へ進学。卒業後、札幌でのサラリーマン生活を経て、平成25年に新規就農者として独立。現在は「ハラハチファーム」の代表として夫婦で農業を営んでいる。

就農までの道

結婚して子どもを授かったことで、食べるものの大切さを痛感したことが就農のきっかけ。同時に札幌での生活や仕事にも限界を感じており、生き方自体を変えたいと思った。そして自然と農家になることを決意した。

「農家になるなら有機農業を」

と決めていた中村さん。有機農業での新規就農は想像以上にハードルは高く、いくつかの自治体で門前払いされたが、安平町追分で農業を営んでいる小路さんが研修を受け入れてくれた。そこで妻の美香さんとともに2年間の研修を受けた後、晴れて独立を果たした。

目標とやりがい

現在、約5haの規模で大豆・米・トマト・アスパラ・ハスカップなどを有機栽培しており、独立した年に全面積で有機JAS認証を取得している。

ハラハチファームが加工・販売しているトマトジュースとハスカップジャムは、安平町へふるさと納税として寄付してくれた方へのお礼品にもなっており、消費者から聞こえてくる「おいしい」の一言が中村さんのモチベーションにもなっている。

今後について、「農家になって5年。経営はまだまだ安定しておらず苦しいときもある。それでも目標は、安定経営はもちろん、消費者にもっと喜んでもらえる農園にしたい」と話した。

ホクレン北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(8月) 平成29年8月2日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	37	760,000	1.177	2,181
	雌	31	702,710	1.027	2,212
苫小牧	去勢	3	780,667	1.236	2,256
	雌	-	-	-	-
早来	去勢	26	823,308	1.314	2,308
	雌	23	706,609	1.000	2,266
追分	去勢	6	811,000	1.200	2,490
	雌	3	804,667	1.161	2,390
厚真	去勢	26	827,962	1.207	2,403
	雌	19	690,737	1.032	2,274
穂別	去勢	31	818,387	1.181	2,439
	雌	25	660,200	1.022	2,110
とまこまい広域	去勢	129	803,341	1.213	2,328
	雌	101	693,851	1.024	2,216
胆振管内	去勢	232	811,315	1.187	2,400
	雌	171	695,327	1.021	2,229
市場計	去勢	776	791,352	1.147	2,410
	雌	521	675,917	1.020	2,195

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/9月~11月 平成29年8月25日
札幌管区気象台発表

【予想される向こう3ヶ月の天候】

向こう3ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は、高い確率50%です。

気温予想				降水量予想(太平洋側)			
3ヵ月	低20%	並30%	高50%	3ヵ月	低30%	並40%	高30%
9月	低20%	並40%	高40%	9月	低30%	並40%	高30%
10月	低20%	並40%	高40%	10月	低30%	並40%	高30%
11月	低20%	並40%	高40%	11月	低30%	並40%	高30%

9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

10月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

11月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

理事会報告

平成29年8月10日(木)に本所総合営農センターで第8回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

- 報告事項
1. 一般報告と当面する諸行事について

2. 6月末財務報告について

3. 8月1日現在、農作物の作況について

4. 組合員の異動について

5. 固定資産の取得、処分について

6. 青果物集出荷予冷貯蔵施設のコンテナ導入に係わる指名競争入札の結果について

7. コンプライアンス委員会報告について

8. 内部監査の結果について

9. 経営定期点検の結果について

10. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング結果」について

11. 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中及び農林中金が定める事項の報告について

12. 28年産米に係わる追加概算金の支払について

13. 生産資材コスト低減対策(肥料)の実施について

14. 経済・販売部門の与信管理ヒアリング結果について

- 協議事項
1. 組合員代表訴訟補助参加に向けた今後の進め方について

- 付議事項
- 議案第1号 出資の減口と譲渡について

※理事会終了後、ホクレン苫小牧支所との意見交換会を実施致しました。

北海道最低賃金の改定について

平成29年10月1日より北海道最低賃金が810円に改定されます。

北海道内で事業を営む使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金が改定されます。

最低賃金額 時間額 **810円**（前年比+24円）

効力発生年月日 **平成29年10月1日**（効力発生日の前日までは786円です）

※最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されません。
※最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

J A 日 誌

2017 9月

- 16日(土) スコッティ特別展(むかわ四季の館)、高卒採用筆記試験、ATM休業(全店・コンビニATM含む、～17日)、たるまえサンフェスティバル(苫小牧、～17日)
- 17日(日)
- 18日(月)
- 19日(火) 第8回経営会議
- 20日(水) 第8回企画会議、個人情報に係わる研修会、勇払東部地区国営農業用水再編対策事業促進期成会総会
- 21日(木) 胆振東部危険物安全協会視察研修(千歳)
- 22日(金) 高卒採用面接試験、苫小牧あつま会総会(苫小牧)
- 23日(土) 2017北海道ホルスタインナショナルショウ(安平、～24日)、プレマわくわくセミナー(苫小牧)、とましんまち市
- 24日(日)
- 25日(月) 共済外務活動実践研修会(苫小牧、～29日)
- 26日(火) 胆振農商工連携会議(室蘭)
- 27日(水) 北海道競馬協賛レース「JAとまこまい広域たんとうまい特別」(門別競馬場)
- 28日(木) 全道常参会議(札幌)
- 29日(金) 試用期間解除辞令交付
- 30日(土)

2017 10月

- 1日(日) 最低賃金改正
- 2日(月) 厚幌ダムたん水式
- 3日(火)
- 4日(水) 年金友の会道外旅行(東北方面、～7日)、肉牛市場
- 5日(木) チャリティーパーク厚真米大会
- 6日(金) 乳牛市場
- 7日(土) 第14回ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会(帯広)クルビズ終了
- 8日(日) あつま新鮮組「あつま特産市」(苫小牧)、あびらややび～あ(安平)、第34回とまこまいマラソン
- 9日(月) 鶴川ライオンズクラブ認証50周年記念式典(むかわ)
- 10日(火) 第10回理事会
- 11日(水) 厚真サポート懇談会(予定)、新米贈呈(11～13日頃予定)
- 12日(木)
- 13日(金) 日本女性会議2017とまこまい大会(苫小牧、～15日)
- 14日(土) 和牛サミット2017 in Matsusaka(三重県)
- 15日(日) モザイクマーケット(苫小牧)、広域職員OB会(登別)

J A
からの
お知らせ

JAイベント情報

准組合員地産地消交流会

当JAの各種サービスを利用されている准組合員の方を対象に、下記日程にて「准組合員交流会」を開催致します。当日は法律講演会や、広域農協管内で収穫された米や豚肉、野菜を使ったオリジナル料理の試食昼食会等、盛りだくさんの内容を予定しております。
※参加希望者多数の場合は抽選となります。

開催日 平成29年10月14日(土)

開催会場 日胆農業会館(苫小牧市若草町5丁目5番3号)

JAとまこまい広域杯少年サッカー大会

当JAでは、地元少年サッカークラブチームの「早来フェリーレFC」と連携して、広域管内の少年サッカーチームに所属する児童を対象としたサッカー大会を下記の日程にて開催致します。当日はサッカー大会の他に、地域農業やJAの紹介、それに関連した〇×クイズ等の実施を予定しております。

開催日時 平成29年10月8日(日)
午前9時30分～(雨天決行、雷雨中止)

開催会場 安平町はだしの広場(安平町早来大町143)

JAやJA関連団体へ100%就職

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎

第2回学生募集 JAカレッジ

●60名●1カ年、全寮制●満24歳未満(平成29年4月1日現在)
●大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
●願書受付:9月11日～11月20日消印有効
●試験日:12月12日・13日
●学校見学もできます

お問い合わせ・資料請求
JAグループ職員養成校
JAカレッジ
一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 JAカレッジ(検索)